

SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

NPO法人 地域福祉サポートちた

もくじ

□ 孤立家庭の子育て円卓会議と地域包括ケア……………1P

□ フードバンクプロジェクト@ちた ……2P

□ 第12期マネジメントセミナー ……2P

□ 東海市新規採用職員研修 ……2P

□ 会員団体紹介 ……2P

□ サービスラーニング報告……………3P

□ NPO担当職員リレー……………3P

□ インフォメーション……………4P

孤立家庭の子育て円卓会議と地域包括ケア

代表理事 岡本一美

愛知県子育て支援課がテーマ提案をした円卓会議が始まった。9月から1月まで「孤立子育て家庭をどう地域で支えるか」について、NPOと行政が5回の協議の場を持つ。知多地域からは、NPO法人りんりん下村理事長、半田市子育て支援センター職員河田君代さんが参加。子育てネットワーク連絡会について事例報告された中、支援機関はたくさんあっても、対象者につなぐににくいといった課題に対し、同じ半田市でも岩滑区では、NPO法人の存在と活発なコミュニティ活動があいまって、課題発生に市民活動的対応がなされている状況が話された。それでも対応できない家庭には訪問支援が必要だが、専門家とボランティアの2階層のアウトリーチを行う「ホームスタート」の人材育成事業が、名古屋市のNPO法人まめっこ(円卓メンバー)で開始された。SNEP(孤立無業者)対応の「静岡方式」によく似た取組である。地域支援ネットワークづくりである。

さて、「地域包括ケアのまちづくり」であるが、対象者数の多さで待ったなしの高齢者対策が急がれる。しかし、全世代型の社会保障制度の構築と共に、を忘れてはならない。高齢者のための生活支援サービスは、他の対象者も利用できるような取組が必要。さらに、サービスの担い手として高齢者自身が活躍できる取組は、担い手の介護予防的取組にもなる。これこそ、知多地域のNPOが実践してきたことそのものである。

2回を終えた子育て円卓では、「子どもは地域の宝と言えるまち」という地域ビジョンに向けて、方策の一つに「しろうとコーディネーターが支援機関やサービスをつなぐ」が出た。独居高齢者対策の見守り、声掛けなど、地域の互助が子育てにも目配

りできるといい。

10月19日、日本福祉大学で地域連携プラットフォーム設立記念フォーラムが「大学と地域の協働による新たなふくし社会を目指して」と題し、開催された。参加した自治会から、高齢者シェアハウスを作りたいが、という相談があり、行政、企業、大学等との円卓が始まりそうだ。日福プラットフォームでは、持ち込まれた課題に詳しい研究者や学生とのマッチング、情報提供のほか、対話の場づくりとふくし教育の新たなステージづくりが期待される。

地域包括ケアのまちづくりに向けて、日常生活圏域での福祉力の掘り起こしがまだまだ必要だ。高齢者はもちろん、子育てでも障がい者でも。

「心で受け止める障がい者虐待防止法」

講師 野沢和弘さん(毎日新聞論説委員)
日時 12月11日(水) 13:30~16:30
会場 知多市体育館 2階 大会議室
定員 200人 *参加費は無料



温かな人柄とテンポのよい語り口で定評のある野沢さんに「障がいのある人もない人も、暮らしやすい社会とは？」を語っていただきます。

講演後のグループワークでは、NPO法人知多地域成年後見センター事務局長今井友乃さん(本法人理事)の進行で、障がい者理解を深め、あったらいいの「地域像」を考えます。

■フードバンクプロジェクト@ちた 進行中

プロジェクト始動にあたっての説明会が9月6日知多市市民活動センター内で行われ、44名が参加した。

事の始まりは、8月末常滑にオープンした大型量販店から賞味期限間近の食品提供を受けた(N)セカンドハーベスト名古屋が地元還元の店側の意向を受け当法人に打診され、常滑社会福祉協議会、日本福祉大学3者ネットワーク基盤でのフードバンクの取り組みにつながった。初めての試みに戸惑いつつNPO・常滑市社協・ファミリーホーム・教会が「もったいないをありがとう」のスローガンのもと、パンや果物等を受け取り有効活用を模索する。約1か月経過し現在は受け取りが27団体に増えているが、食品の量や種類を増やすために受け取り先を募集する。問合せは市野まで(下図は9月24日～10月17日の受取品目集計)



■第12期マネジメントセミナー ワンポイント編



講義後、本企画を提案された(N)絆の山崎代表の進行のもと、講師への質問や参加者の情報交換が盛んに行われた

NPOのマネジメントを企業から学ぶ試みとして10月11日(金)マルスフードショップ株式会社上木社長より、

ミッション・ビジョン・バリューを核にした理念経営について30名が受講した。

大型スーパーひしめく激戦区で勝ち抜くために他店ではできない特化戦略として個性を生かし、お客様の期待を上回るサービスが地域の信頼を得て業績を上げている。また創業者でない4代目社長の苦悩ゆえの社員教育の鍵は経営理念とミーティングにあるとまとめられた。(市野)

☆会員団体紹介☆

「特定非営利活動法人toピア」



南知多のハーブ園の依頼で7月から始まった「ハーブ塩」の作業の様子

「これが私の思い描いた通りなんです」彼らの作業風景を目を細めてほほ笑

む小久保理

事長。

平成17年3月に設立、自分らしさを活かし、地域のひとりとして仲間がいる地域で自分らしく、地域や社会で役割を持ちたいと考えている障がいのある人や若い人たちが地域の皆さんと一緒に考え一緒に運営する。平成25年6月より就労継続支援A型「T's Pro」を設立し、支援の具体化に努めている。

平成23年4月より課題解決のためのプロジェクトとして対等な関係を担保しながら、NPO・社協・行政15団体が毎月定例会議を開催する知多子ども若者支援者ネットワークの構成員として参加する。今年度は喫緊の課題である就労支援に焦点を当て、就労先開拓について社会的な自立に向けたサポートをする仕組みを組み込んだ「中間的就労」の提供可能な事業所の調査・ヒアリングをモデル先

■東海市 新規採用職員研修

10月8日(火)21名が参加したNPO現場研修の午前、NPO基礎知識と地域特性、市民活動と協働について座学を、また午後はNPO現場2か所を見学した。各々設立の思いやボラン



地元市民ニーズに直接触れ、我がまちのあるべき姿を描く機会となった(上写真は(N)ふれ愛の駐車場)

ティア活動から課題解決に向け事業化した経緯、また地域の現状を聞くことで、協働の必要性やお互いの役割分担について考えを深めた。(江端)

■日本福祉大学 サービスラーニング報告

中間支援のNPOに興味をもった学生4人が、ふり返りも含めた計7日間のサービスラーニング※の活動を行った。「中間支援とは何か?」という学生たちの疑問に対しては、活動を通して自分たちで答えを見つけてくれることに期待して活動を始めた。1日目は、地域の居場所となっている南粕谷ハウスを見学後、Ada-codaのワンデイシェフとも話をしながら、コミュニティカフェの役割について学んだ。

知多青年会議所からの提案「市民活動団体の人たちとまちづくりについて考えたい」がきっかけで「楽ちた楽祭」実行委員会が立ち上がった。夜に開催する会議にも参加しながら祭全体の役割を学んだ。また、学生が企画するブースも一つ担当し、祭り会場を回るスタンプラリーを運営した。

準備から当日まで運営に携わり、積極的にたくさんの人たちと関わろうとする姿勢がみられた。中間支援の役割は、この短期間では難しいと思うが、この経験が今後、地域活動に関わっていくためのきっかけになったと確信する。(海老原)



9月22日汗ばむ晴天の中、多くの多世代が参画した「楽ちた楽祭」

学生から合計7日間の活動を「楽ちた楽祭」にサービスラーニングとして参加させていただきました。準備では祭のブースとして出展する自分たちの企

画をスタンプラリーに決め、みんなで考えるのは大変でしたが、消しゴムハンコづくりやスタンプカードのデザインを決めて、作ったことはとても楽しかったです。

祭当日では市民活動団体の方たちやたくさんの子もたちと関わり、知多市のまちづくりに貢献できたかなと思います。学生が地域の方たちとのつながりや祭に参加することにより、地域がどのようなつながりなのか、地域についてのたくさんの学びになりました。地域の方たちとお互いのつながりが必要であり、大切だとわかりました。

また、サポートちたの職員の方たちと関わり、サポートちたの中間支援組織についても学ぶことができ、本当にたくさんの方の事を学ばせていただ

き、ありがとうございました!! (丸茂、藤江、春田、高橋)

※サービスラーニングとは、地域貢献活動を通して社会への問題意識を育むための学習プログラム。日本福祉大学では2年次に実際にNPO法人等の現場に赴き地域の人と関わる活動を行っている。

NPO担当職員リレー

豊田市社会部共働推進室 とよた市民活動センター 主事 松岡香織さん

7年務めた民間企業を夫の転勤により退職、再び戻り当市の任期付職員として議会事務局、地域支援課共働推進担当で活躍した。本採用となった5年目の今春、センターに配属され市民活動団体のサポートに奔走する毎日を過ごしている。



豊田市独自の「つなぎすと」は、市民活動力を高め共働を促進するコーディネーターとして活動が始まった平成20年7月より活動団体相互、活動団体と行政・企業との間をつなぐ。現在13名が登録され多方面で活躍され、今年度、第3期養成講座を開講中。最大のメリットはつなぎすと自身が活動者のため、共感をベースに伴走しながら活動団体の応援ができるということ。近年、地域の課題を解決するために地域一体となって向かう姿勢が求められており、つなぎすとの役割は大きい、そのネットワークの要を担うセンター職員の力量も問われている、と厳しい一面をのぞかせる。

人とのかかわりが面倒と言いつつも満面の笑顔と軽快なおしゃべりが続く。人との出会いの大切さを日々出会う前向きでパワフルな人たちから学び、いくつになっても素直であることを自分軸とする姿勢がとても魅力的だ。(市野)

..*☆.. * .☆:* ..*.. * ☆.. * ☆:..*

新会員紹介 ☆ご入会ありがとうございます☆

【正会員/団体】 一般社団法人わがやネット 様

☆*:*..*☆.. * .☆:*..*☆° :.. * ☆

サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

■共感力 UP!! インプロワークショップ

演劇のトレーニングを誰にでも簡単に楽しくできるようにしたのがインプロワークショップ。リズムしりとり、リズム連想など、簡単なゲームを通じてコミュニケーション能力を高める。その効果は「アイデアが出やすくなる」「即興力が高まる」「右脳が発達し直観力が高まる」「ネガティブな状況をポジティブに捉えられるようになる」など。

<日時> 11月9日(土)、12月14日(土)、14時～16時

<会場> ちた地域若者サポートステーション

<費用> 一般1,000円 (ちた地域若者サポートステーション登録者は無料)

<申込> ちた地域若者サポートステーション

☎0569-23-2252

■育自のための小さな魔法 (はなちゃん助成金)

「育児」ではなく「育自」ワークショップでは、自分を見つめ①自分の人生②好きなこと③ビジョン、を語り聴きあうことでお互いを認め合い、ほんのひとときの「自分を大事にする」時間を持ってもらえる内容。参加はどなたでも

<日時> 平成26年1月12日(日) ①10時～12時 ②13時半～15時半 ③平成26年1月26日(日) 10時～12時

<会場> 半田市雁宿ホール 和室2

<講師> 山口ひとみ(N) 育自の魔法 代表理事)

<費用> 各回500円(①と②は1回のみ参加可。③は②を受講された方のみ参加可)

<申込問合せ> ぱれっとHP(<http://85.xmbs.jp/palette/>)

* 託児の必要な方は申し込み時に要相談

■絆 設立 20 周年イベント “あしたの絆”

“明日の元気は今日の選択～夢のみずうみ村から学ぶバリアフリーの極意～” 夢のみずうみ村代表 藤原茂氏講演「生・き・る支援」、和太鼓演奏、映像で綴る絆20年の歩みの上映を開催する。(参加費無料)

<日時> 平成26年1月25日(土)13時半～16時20分

<会場> あいち健康プラザ内、プラザホール

<問合せ> (N)絆 ☎0562-83-7563

■ギョギョウランドに遊びにきてね!

三谷漁港活性化イベント「ギョギョウランド」は、かわいいキッズダンスやご当地キャラのステージ企画や地場品が味わえる飲食ブース、フリーマーケット、こども体験ブース等出店。海のまち蒲郡がたっぷり楽しめるイベント! 情報はfacebookにて配信中、当日ボランティアも同時募集中

<日時> 11月23日(土) 10時～14時

<会場> 三谷魚市場(蒲郡市三谷町港町通58)駐車場有

<問合せ> (N)楽笑 ☎0533-66-6228

■ネットワーク大府

第6回さをり折り作品展

1年間の作品展展示および即売会をネットワークみやび1階ホールにて開催。

<日時> 11月16日(土)17日(日)10時～16時

第12回行動援護従事者養成研修 開講

<日時> 11月11日(月)14日(木)18日(月)9:15～16:15

11月25日(月)9:15～12:00

<費用> 20,000円(テキスト代等含む)

<問合せ> (N)ネットワーク大府 ☎0562-44-3735

■サポートちた

組織運営強化ゼミ @一宮市市民活動支援センター

11月2日 (N)りんりん理事長下村裕子

12月7日 (N)ボラみみより情報局代表理事織田元樹

1月11日 (N)ボランタリーネイバーズ 太田黒周

2月1日 (N)起業支援ネット代表理事久野美奈子

各回土曜日、13時～15時

参加費無料、問合せ:市野

フォトレポーター募集@知多市市民活動センター

地域やNPOの活動を写真で紹介する『愛知まちのたね通信』へメールで投稿しませんか? ケータイ写真でボランティアができる仕組みの説明会を開催

<日時> 1月17日(金)18時半～20時

参加費無料、担当:市野

NPO現場見学バスツアー

【1/23 NPO・行政・地縁との連携】

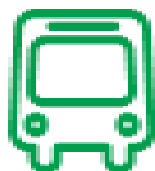
9:30集合 10:00出発～16:00帰着

参加費:5,000円

※ツアーと座学など、目的に合わせた

研修を組んでみませんか?

ご相談は無料です(担当:江端)



特定非営利活動法人
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1

知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631

Fax 0562 (33) 1743